

令和5年度公益財団法人かかみがはら未来文化財団 事業計画書

1 基本方針

本市の10年後、20年後の未来の姿を見据え、まちの文化的な価値向上のみならず、まち全体の魅力創出につなげていくため、「文化を活かしたまちづくり」を強く推進していく。

本市が持つ多くの文化資源を最大限に活かした取り組みを行うことにより、まちに対する愛着や誇り、心の豊かさが育まれるとともに、このまちに住みたい、住み続けたいと感じる人を増やしていく。

文化を通じて、次代を担う子どもや若者が積極的にまちに関わることができる日常を創出することにより、未来のまちの活力につながるような取り組みを実施する。

財団設立3年目となる令和5年度は、舞台芸術のプロフェッショナル人材を新たに採用することで、文化財団が企画運営を行う自主事業などのレベルアップを目指すとともに、財団スタッフのスキルと企画力のアップを図る。

また、自主事業においては、各務原市制施行60周年に合わせた記念事業を開催するなど、市との連携をより強くし、更なる事業展開を目指す。

2 事業内容

【公益目的事業】

○企画事業

(1) 文化に「ふれる」

ア 自主事業

質の高い文化芸術にふれる機会の提供が求められていることから、一流のアーティストや、地元ゆかりで全国的に活躍しているアーティストを積極的に活用するなど、鑑賞機会の充実を図るとともに、より多くの市民の文化への関心を高める取り組みを進める。

①森麻季 & 林美智子 デュオ・リサイタル 【各務原市制施行60周年記念事業】

人気実力ともに日本を代表するソプラノ森麻季、メゾ・ソプラノ林美智子

によるデュオ・リサイタルを開催する。

開催日：5月20日（土）

会場：プリニーの市民会館

②かかみがはら未来合唱団

プロのオーケストラや声楽家と市民と一緒にステージに立ちひとつのコンサートをつくるため、一期一会の混声合唱団を結成し、練習を行う。

講師：出口麻美（藤原歌劇団）

開催日：7月～12月 計16回

会場：那加福祉センター集会室

③日本画家・宮原剛展

各務原市美術展日本画の部・審査員であり、日展会友の日本画家・宮原剛による動物や植物をモチーフにした個展を開催する。

公開期間：11月18日（土）～11月26日（日）

会場：中山道鶉沼宿 脇本陣ギャラリー

イ 文化・芸術活動充実事業受託業務

文化芸術活動の成果を表現する場を創出するとともに、文化芸術を気軽に親しむことができる機会の充実を図る。

①市美術展

美術の振興を図るため、日本画、洋画、彫刻・工芸、デザイン・イラストレーション、書、写真の6部門で広く作品を募集し、優秀賞を一般に公開する。

公開期間：1月20日（土）～28日（日）

会場：産業文化センター1F あすかホール

②登録アーティスト派遣

広く市民に音楽にふれる機会を提供するため、市登録アーティストの派遣斡旋を行う。

③市民大茶会

各務原茶華道連盟と連携し、秋の茶会をマーケット日和と同時開催する。

開催日：11月3日（金・祝）

会場：市民公園 休憩所

ウ 文化会館運営事業受託業務

各務原市の文化芸術の中核拠点である「各務原市文化会館」において、新たに採用する舞台芸術のプロフェッショナル人材の知見を活かし、施設の効用が最大限に発揮されるようなソフト事業を企画・実施する。

①かかみがはら未来文化芸術祭

文化会館を拠点に、地元のアーティストを支援するための制度を創設し、定期的にホールでの演奏機会を創出するなど、活動支援を行うための演奏会を開催する。

監修：坂本和彦（藤原歌劇団）

開催日：8月26日（土）、27日（日）

会場：プリニーの市民会館

②かかみがはら未来文化ミーティング

若い市民を巻き込んだ「文化ミーティング」を年数回開催し、特に若い市民の「文化会館で何かやってみたい」という気持ちを醸成し、市民チャレンジ企画に結び付ける。

開催日：不定期

会場：中央ライフデザインセンター

③ホワイエコンサート

市民会館ホワイエにおいて、有識者の審査により選ばれた、各務原市内で音楽活動が可能なプロ、またはセミプロの演奏家である「各務原市登録アーティスト制度」を活用したコンサートを開催する。

開催日：不定期（年7回）

会場：市民会館ホワイエ

(2) 文化を「つたえる」

ア 文化・芸術活動充実事業受託業務

先人が守り、語り継いできた文化を継承し、地域の個性や誇りへと結びつけていくため、伝統的な文化や個性的な分野の保存・活用を図る。

①アンティークピアノ活用

市役所新庁舎に設置される市内で発見されたイギリス製のアンティークピアノを活用したコンサートを開催する。

開催日：令和5年11月、令和6年3月

会場：市役所新庁舎高層棟2F

(3) 文化を「はぐくむ」

ア 自主事業

まちの未来を担う子どもたちの豊かな心や感性・創造性を育むため、優れた文化芸術にふれる機会の充実を図るとともに、子どもたちが芸術文化への関心を育む取り組みを継続して実施していく。

また、本市の特色である吹奏楽の活動に対する支援、村国座やオープンスペースを活用した取り組みを通じて、特色ある文化芸術事業を推進する。

①かかみがはらジュニア・アーツ・アカデミー

小学生を対象に子どもらしい感性や友達とのコミュニケーション力を育む事業を実施する。

講師：坂本和彦（藤原歌劇団）

開催日：7月～12月 計13回

会場：那加福祉センター集会室

②コラボレーションコンサート

かかみがはらジュニア・アーツ・アカデミー受講生がその成果を発表する場（アートステージ）として、実力を有する女性ソリストを集結したオーケストラ「G ドリーム 21」と共演するコンサートを開催する。

開催日：12月16日（土）

会場：プリニーの市民会館

③ファミリーコンサート

生の音楽に「ふれる」機会が少ない子育て世代を対象に、小さな子どもを連れた親子でも気軽に楽しめる参加型のコンサートを開催する。

開催日：不定期（年4回）

会場：市内福祉センター等

④かかみの音楽演奏会

各務原ロータリークラブと連携し、市内中学校の吹奏楽部に発表の場を提供し、生徒の育成や技術向上につなげる。

開催日：7月9日（日）

会場：プリニーの市民会館

⑤航空自衛隊中部航空音楽隊コンサート・楽器別講習会

本市の特色である吹奏楽の活動に対して、市内中学校の吹奏楽部に発表経験する場や良質な吹奏楽を聞く機会を提供するほか、講習会等を開催することにより、生徒の育成や技術向上につなげる。

【楽器別講習会】

開催日：5月27日（土）

会場：旧岐阜女子商業高校校舎

【コンサート】

開催日：5月28日（日）

会場：プリニーの市民会館

⑥歌舞伎を観るということ

「歌舞伎」という文化を新たな層にアプローチする企画として、新しいエンターテインメントを発信するトークイベントを開催する。

監修：小林昌廣（IAMAS・情報科学芸術大学院大学教授）

出演：町田康（小説家）

開催日：6月17日（土）

会場：村国座

⑦オープンスペース活用

まちの魅力である市街地のオープンスペースを多様な芸術文化空間として積極的に活用することで、普段から音楽やアートにふれることがない方に対するきっかけとする。

開催日：不定期

会場：市民公園・学びの森等

イ 文化・芸術活動充実事業受託業務

①高校生美術展

平面、立体、書、写真の4部門で作品を募集し、優秀作品を一般に公開する「高校生美術展」を開催する。また、デジタルツールを活用し、会場風景を実物展示と併せて公開する。

公開期間：12月7日（木）～10日（日）

会場：産業文化センター1F あすかホール

②少年美術展

市内の小・中学校の児童生徒の絵画、書写などの優秀作品を展示する「少年美術展」を開催する。

公開期間：調整中

会場：調整中

（4）文化を「いかす」

ア 自主事業

従来の文化振興を主目的としてきた「美術・音楽・文芸」の分野において、サブカルチャーと融合させることで、新たな価値の創出につながるような取り組みを実施する。

①OUR FAVORITE THINGS reprise

若い世代に向けた都市イメージの向上やシティプロモーションにつなげる事業として、村国座を活用した音楽イベントを開催する。

開催日：6月18日（日）

会場：村国座

②俳句ワークショップ

子どもと大人を対象に、言葉に広がりや親しみを持ってもらうワークショップを開催する。

講師：後藤麻衣子（編集者／コピーライター）

開催日：調整中

会場：KAKAMIGAHARA PARK BRIGDE

イ 実行委員会事業

文化イベントを通じて、まちの魅力を発信することで、まちと「もっと深く関わりたい」という若者が増えるきっかけをつくるとともに、地域外から興味や愛着を持って、継続的な関わりを持つ「関係人口」を増やしていくため、「まち」と「ひと」がつながる機会を創出する。

①各務原マーケット日和

「自分の暮らしにプラスしたくなる、新たな出会いの場」をコンセプトに、音楽、アート、マーケットなどを楽しめるイベントを学びの森周辺エリアにおいて開催する。

開催日：11月3日（金・祝）10：00～16：00

会場：学びの森周辺

【収益事業】

○舞台管理

ア 文化会館舞台管理業務委託

ホール舞台の操作管理として、舞台・照明・音響設備の操作及び日常点検業務を行うための人材を「各務原市文化会館」へ派遣する。

○一般管理

（1）情報発信の充実

財団が取り組む様々な情報を効果的に発信するため、ウェブサイトにおける情報発信を強化するとともに、事業の対象を踏まえながら、機関紙の発行やSNSの積極的な活用を行う。

（２）賛助会員の募集

賛助会員制度により、広く財団の活動に賛同する個人・企業・経済団体を募る。特に、個人会員の募集を強化するため、オンライン決済できるシステムを導入し、財団ウェブサイトから誘導するページを設ける。

（３）先進事例の調査研究

魅力ある事業の実施や効率的な運営を行うため、他の先進事例の調査を行う。